

見つめてみよう自分の地域を！

平成20年度 地域公民館大会から

「見つめてみよう自分の地域を！」を共通テーマに開催された今年の地域公民館大会は、総計約277名のみなさんが参加し、たくさんの発言で活発な議論が展開されました。その概要を紹介します。

▲五市七町地区

◆**テーマ「地域の魅力を語る」**
◆**十日町地区** 金山祭りが終わると行事が何もなくなるので「十日町祭り」を始めた。子どもからお年寄りまで参加してくれる。

◆**七日町地区** 一昨年から、消防団員と若連が中心になって2月に「裸みこし」をやっている。高校生や若い人たちにも参加してほしい。

◆**羽場地区** 地区内の様々なグループが、行事に協力。地区のレクリエーション大会は、児童公園での反省会も楽しみの一つ。羽場に新しく家を建てて住んでくれることがうれしい。

◆**内町地区** 「無尽」グループなどが、地区の運営に協力。有志や個人が、駄菓子屋風の店や、民芸品作りの体験所、山野草販売所、来訪者の休憩所などに取り組んでおり、内町を町づくりの情報発信基地にしていきたい。

◆**山崎地区** 3世代同居の家が沢山ある。みんなの協力で「子ども見守り隊」ができた。子どもたちの伝統行事「山の神の勧進」。最大の魅力は、地区の宝物である子どもたちを、地区を挙げて育てていること。

◆**上台地区** 上台峠からの景観と古い家が並ぶ通り、伝統行事の「さんげ、さんげ」が魅力で残していきたい。老人クラブや若連が「熊野神社」「太平山」の清掃などの維持活動をしている。地区の団結力の強さも魅力。

◆**三枝地区** 公民館や農村公園の清掃・草刈の後に、子どもから老人まで参加してレクリエーション大会を開き、懇親会でも多いに盛り上がる。

◆**荒屋地区** 様々な団体が活発に活動している。地区のレクリエーション大会も、29回を迎えた。子どもから大人まで約30人の囃子若連は、子どもたちの触れ合いを大事にし、みすぎ荘の夏祭り、千手観音祭り、七日町若連の山車などに参加している。

◆**飛森地区** 春夏秋冬行事がある薬師山と地区レクリエーション大会が魅力。今年14回目の地区レクリエーション大会は、グラウンドゴルフと

◆**高齢者による野菜作りを進め、作物や漬物などを販売することで、元気な地域につながる。**

◆**それぞれの地区に昔から伝わっているものがあり、歴史を踏まえてみることも大事だ。**

◆**様々なことに参加する際に、時間コストの意識を持つことが大事だ。先にたつて仕掛け作りをやる人たちの苦労は多いが、呼びかけをしなから地域の人たちの意識を高め、参加してもらってつながりを作っていくことが大事だ。**

中田学区

◆**テーマ「子ども活動と地域の関わり」**
◆**少年係を5地区それぞれに置いていくが、子どもの人数も少なくなってきたので、中田地域全体で1人にできないだろうか。**

◆**子どもたちの育成を家庭や学校だけでなく、地域でもみていきたい。**
◆**中田の子どもたちは、小学校を中心**



◆**魚清水地区** 魅力は、万延元年から祀られている稻荷神社の糠塚とその管理伝承活動。歴史のモニユメントでもある故小林跡治先生の句碑や茶室。毎年6月9日にしめ縄づくり。

有屋地区

◆**テーマ「有屋地域の宝ものがし」**
◆**地域の宝物の例として、神室山の修験の道と古道「有屋峠」の歴史、「毎年8月14日早朝の竜場山」「お山掛け」、金山川の源流・水源の里であること、地域住民一人ひとりの役割、グリーンパレー神室と遊学の森、稲沢と柳原の番楽などがある。**

◆**耕作放棄地で大豆を生産し、地元の豆腐屋の材料にして消費につなげるなど、少しでもみんなが潤う地域づくりをめざせたらよい。**
◆**番楽活動を通しての年代を超えた交流が楽しい。**
◆**有屋地域で行うイベントを増やして**

◆**に伸び伸びと生活できている反面、おとなしく、積極的に行動を起こす子どもが少ないようだ。文章をつくることは上手なようで、的を絞った活動をしてみてはどうか。**

◆**子ども会活動を地区で行おうとしても、子どもが少なくできない。**

◆**中田地域の子ども会活動の一本化については可能なので、みんなで思いをぶつけ合ってみてはどうか。**
◆**小中学生に高校生も交えた活動が得意なものだろうか。**

◆**夏休みのラジオ体操で、高校生も交えた健康活動や、高校生だけでなく地域のみんなもラジオ体操をやっている。**

◆**中田囃子若連のように、縦のつながりを作っていけたらいい。**

西郷地区

◆**テーマ「夢を育む西郷地域」**
◆**☆話題となった主な内容**
◆**西郷地域の活動が最近活性化している。**

◆**西郷地域のみなさんに、「にんにく、たまねぎの栽培の一坪・二坪運動」のアンケートを行い、この運動を地域内に広めていきたい。**

◆**町の地域活性化チャレンジ事業に平成20・21年度の2カ年取り組むことになった。この期間で「地域の宝ものがし」をしながら振興計画の見直しをやっていく。**

◆**欲しい。若い世代も積極的に参加していきたい。**

◆**有屋は源流の地域という強みがあるので、もっときれいな環境にしたい。**

◆**夏野菜のニラだけでなく年間を通して農産物作りができないものか。**
◆**新しい作物栽培に取り組んでいるが、年齢的に、規模を拡大すべきか迷っている。**

◆**青年団時代では、他の地域の人たちの交流活動が楽しかった。今の若者たちにも体験できたらいい。青年団のような組織があったから、縦の人間関係が自然にできた。**

◆**今年はじめた「有屋ぐるめ弁当」作りに、元気なお年寄りの力を借りれば、お年寄りの生きがい対策にもつながっていく。**

◆**有屋は宝物だらけ。自然にあるものをもっと活かせばいい。**
◆**有屋のみんなの団結力を、地域の宝物として大事にしてほしい。**
◆**若い人が多く参加できる態勢を考えていくべき。**

東郷地区

◆**テーマ「元気な地域づくり・地域の課題・金山人づくり」**
◆**一人ひとりが、毎日の生活の中で楽しい時間を過ごせる場を持つことが大事だ。**
◆**東郷地域は他と比べて、おとなしく**

◆**昨年の山大人文学部の地域づくり特別演習での「漆野地区の宝物ものがし」で提案された「下高堂山の登山」をぜひやってみよう。**

◆**自給自足の生活を強いられるようになったとき、西郷地域はそれが可能な地域であり、そのことを視野に入れた準備や対応を考えておかなければならない。**

◆**「西郷地域夢プラン21」策定の際に子どもたちの意見も取り入れた。そのときの子どものうち既に成人した人たちも加わって、新しい計画に新たな「夢」を取り入れていきたい。**

金山	7月11日(金)	金山町中央公民館	103人 (男75人・女28人)
有屋	7月17日(土)	有屋小学校	50人 (男32人・女18人)
東郷	7月18日(日)	明安地区多目的集会施設	50人 (男42人・女8人)
中田	7月22日(火)	中田小学校	30人 (男27人・女3人)
西郷	7月24日(木)	朴山地区公民館	44人 (男35人・女9人)
合計			277人 (男211人・女66人)

開催日と参加者数